

### Ⅲ 美術作品の収集

#### ● 令和元年度収集作品数及び所蔵作品総数（令和2年3月31日現在）

	購入	寄贈	管理換	分類換	合計	総数	HP公開数※
日本画	1	0	0	0	1	650	605
油彩画	0	0	0	0	0	460	434
水彩画	0	0	0	0	0	287	277
素描	0	0	0	0	0	628	188
版画	0	0	0	0	0	1,781	1,628
彫刻	0	0	0	0	0	216	202
工芸	0	0	0	0	0	61	57
合計	0	0	0	0	0	4,083	3,391

※著作権等の理由により、一部の作品はホームページ上で公開しておりません。

#### ● 令和元年度収蔵作品

##### 1 購入作品

<日本画>

##### 1 横山 大観

明治元年～昭和33年  
(1868-1958)

##### 布袋図

明治41年頃 (c. 1908)

絹本・彩色・軸装

112.4 × 49.4 cm

菊池五郎氏遺贈

(当館での作品購入を条件とした菊池五郎氏  
ご遺族からの茨城県への寄付金で購入)



令和元年度の収集候補作品は、購入候補1点(日本画)、寄贈候補31点(日本画6点、版画21点、彫刻4点)、管理換候補1点(日本画)の計33点であったが、結果的に収集できたのは、上記1点のみとなった。

当館では、美術作品の適正な収集を図るため、美術資料収集委員会ならびに美術資料審査委員会という2つの委員会に諮り、適正であるとされたもののみを収集している。令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、審査委員会が開催できず、収集は令和2年度へ持ち越すこととなった(審査委員会に先立って開催した収集委員会では、収集候補作品33点について、すべて収集することが適正であるという答申を得ていた)。ただし、上記作品については、令和元年度中に収集しなければならない事情があった。作品の真贋からその評価額まで検討する審査委員会では、作品を見ずに審査をすることは基本的に考えられないが、上記作品については、①横山大観記念館で鑑定され、真作として登録番号があること、②東京国立近代美術館で開催された「生誕150年 横山大観展」(2018年)の出品作であったこと等から、審査委員会委員各氏に書面で意見を求めることができ、その結果「収集するにふさわしい」との答申を得、収蔵することができた。